

# 10 がつひかりごう

平成 29 年 10 月 1 日 輝 保 育 園

今月中旬に運動会を控え、園全体が躍動的な雰囲気になってきました。様子が理解できず不安そうにしている子ども、練習を重ね、運動会が近づいたことが理解できると意欲的に取り組む姿が見られるようになりました。力いっぱい頑張る姿や不安な気持ち、友達を応援したり競い合っただけの悔しさ等、様々な思いを受け止めることで、一人ひとりが力を発揮し、やり遂げた満足感が自信へと繋がる事を期待します。子ども達が元気に参加できるようご家庭では、励ましの言葉と体調管理をお願いします。



## 【【 運動会 】】

日時 10 月 14 日 (土)  
09:00 ~ 12:30 (集合 08:50)

場所 井原堤水辺公園

- ・雨天の場合、室内で出来る競技だけを行います。
- ・保護者参加のプログラムもあります。運動のできる服装でお越し下さい。
- ・カラー帽子のゴムの補修をお願いします。

## ★ 清水山遠足 ★

10 月 27 日 (金) に 3、4、5 才児が清水山に遠足登山を行います。

各年齢とも、かなりの距離を歩きます。

履きなれた靴で参加させて下さい。

日常では味わえない秋の自然を体感しながらゴールを目指します。



## = 10 月の行事予定 =

- 5 日 (木) 避難訓練
- 14 日 (土) 運動会
- 18 日 (水) 内科検診
- 20 日 (金) 歯科検診
- 25 日 (水) 身体測定・お誕生会
- 27 日 (金) 清水山遠足 (3、4、5 才)

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 秋こそダニにご用心！ ☆☆

鼻水やせきなどのアレルギー症状。実は秋に発症したり、悪化する人が多いのはご存じですか。

その原因のひとつが、布団や布ソファ、じゅうたんなどにひそむ「チリダニ」。

秋はダニの繁殖は収まりますが、梅雨から夏にかけて増えたダニが死んで、死骸やフンが 1 年で最も多くなる季節なんです。

### ◆ 秋のダニ対策

#### ○ 布団

##### ・丸洗いする

死骸やダニは水溶性のため、水に溶けて流れます。

(丸洗いできない布団もありますので、必ず表示を確認してください。)

##### ・掃除機で吸い取る

1 平方メートルあたり、およそ 20 秒間、布団専用のノズルを使うと、布団の生地を吸い込まず 死骸やダニを吸い取ることができます。

専用ノズルがない場合、お持ちのノズルにストッキングをかければ代用できます。

#### ○ じゅうたん、畳、布製ソファ、座布団・クッション、ぬいぐるみなど

##### ・掃除機で吸い取る

1 平方メートルあたり、およそ 20 秒間

NHK あさイチのホームページより抜粋

## = ナース・レポート =

### 《 RS ウイルス感染症 速やかにかかりつけ医に行くべき症状とは 》

RS ウイルス感染症の発生動向調査で、報告数が 2 週連続して 1 万人を超えました。

報告数が最も多いのは、東京都次いで大阪、福岡と 3 番目に多い報告数となっています。

今後も本格的な流行の状態が 11 月 ~ 12 月まで継続するものと予想されます。

国立感染症センター 安井良則 (9/20 Yahoo ニュースより抜粋)

RS ウイルスは、乳幼児の代表的な呼吸器感染症です。

毎年冬季に流行し、乳児の半数以上が 1 才までに、ほぼ 100% が 2 才までに感染し、その後も一生、再感染を繰り返します。

鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が数日間続きます。

初感染の小児の 20 ~ 30% では、このあと炎症が下気道まで波及して、気管支炎や細気管支炎を発症し、咳の増強、喘鳴、多呼吸が現われます。

重症化しやすく、睡眠時に咳で何度も覚醒する、熱が下がっても症状が改善されない、咳き込んで嘔吐するなどの症状が出る際は、速やかにかかりつけ医に受診しましょう。

RS ウイルスは、登園届が必要な疾患です。診断された場合には、園に届け出の提出をお願いします。

## こ ども の よ う す

### たんぽぽぐみ 0 才児



先日、人気のある「だるまさんと」という絵本を読みました。「メロンさんとぎゅう！」という、だるまさんがメロンさんと抱き合うページがあります。それを見た女の子が隣のお友だちに、同じようにと抱きつきます。最初は驚いたお友だちも、絵本と一緒に分かったようで笑顔になりました。絵本を通して、共通のイメージを持ち共に楽しむ様子が、驚きと喜びを感じます。様々な場面で、人間関係が築かれているのが伝わってきました。これから、自我の芽生えを迎え、様々な主張が見られるようになります。その中で、大人から見ると、困るような関わりも出てきます。でも、一人ひとりの思いを受け止め、子ども同士の関わりの中で様々な感情を育み、そして又主張し、小さな積み重ねを繰り返しながら、人の思いにも気づく子へと育って行って欲しいと願っています。

### たんぽぽぐみ 1 才児



よく運動場でボールを蹴って遊んだり、砂遊びをしたり、スケーターに挑戦してみたりと、それぞれに好きな場所で、好きな遊びを楽しみます。「そろそろお部屋に帰るよ」と声をかけると、案の定「イヤ」との返事。仕方ないと、しばらく待っていると、ちゃんと玩具を片付けて、戻ってきました。時間に余裕を持って過ごし、待つことで、子どもの自分で気持ちを切り替える力を支えていきたいと考えています。運動会へ向けて、遊戯を踊ったり、かけっこの練習をしたりしています。保育者を見てすぐに真似して踊る子、しばらく見て覚えてから踊る子、踊りたいけれどちょっと恥ずかしいなと思っている子と色々な子がいます。無理強いわせず、楽しい雰囲気の中で活動することで一緒に楽しんで欲しいと考えています。応援よろしくをお願いします。

### すみれぐみ 2 才児



気持ちの良い秋晴の下、のびのびと身体を動かすことを楽しんでいる子どもたち。園庭に行くと、とんぼやコオロギ、バッタなどを見つけ大はしゃぎです。いよいよ運動会が近づいてきました。3 才以上児さんの頑張る練習している姿を、憧れのまなざしで見つめています。自分たちの練習が始まると、はりきって参加しています。お遊戯は、振り付けも覚えて笑顔で踊る子、恥ずかしそうに踊る子とそれぞれですが、無理強いせず、楽しい雰囲気を感じてくれればと思っています。かけっこでは、笛の合図で走る練習です。保育士の顔を見つめ、笛の音が鳴るのを待っている時の子どもたちの表情はとっても真剣です。本番当日は雰囲気の違いに戸惑うこともあるかもしれませんが、子ども達の色々な表情を見ていただければと思います。温かい応援をお願いします。

### ちゅうりっぷぐみ 3 才児



進級して約半年。保育士を中心とした簡単なルールのある遊びも楽しめるようになってきました。運動会に関する活動では、「みんなと一緒に楽しめ」をモットーに、そして「頑張ろう！」と心を鍛えながら、たく強く豊かに育っていくことを目指し、日々取り組んでいます。「運動会頑張る！」と子ども達も意欲的になってきました。当日は、沢山の人の前に立つ子どもさんの気持ちを想像して頂き、不安や緊張を抱えながら頑張る子どもたちを温かく応援して頂きたいと思います。さて、「基礎固めの時期」である年少児クラスの子も達。お家の方々のご協力も頂き、着実に自立へと向かっています。大きな課題として、お箸が残っています。ご家庭でのお箸の進行状況はいかがでしょう？中指の位置や中指の動かし方をもう一度、ご確認をお願い致します。

### ばらぐみ 4 才児



運動場の柵の周りで虫探しや草花摘みをしました。捕まえようと一生懸命な子ども達と逃げ回る虫たちの追いかっことは「そっちに行った」、「あー」、「ちよっとー」とお互いに声をかけ合い、とても賑わいました。たくさんのお花やコオロギが捕まりました。運動会では 2 人で力を合わせ、赤組対白組で速さを競う競技を取り入れています。初めは友だちに合わせる事が難しく、上手いかないペアもいましたが、何度かするうちにお互いのことが分かってきて少しずつ合わせようとする姿が見られるようになりました。この取り組みが友だちを思いやる心を育み、力を合わせる事の大切さを感じてほしいと願っています。また、ひまわり組の組体操を見て、年長への憧れも持ち始めています。夫々が自分の力を発揮し、自信を持って大きく成長することを期待しています。

### ひまわりぐみ 5 才児



秋空の下、運動会に向けての活動に積極的に取り組んでいます。ダンスでは、友達と動きを合わせ、どうすれば「かっこよく」なるか意見を出し合いながら踊っています。4 月から練習を重ねてきた鼓隊、剣道、体育では、できるようになったことに自信を持って取り組んでいます。他にも、組体操やリレーなど自分の得意な活動を一杯頑張る姿、苦手な活動にも目標を持って挑戦する姿、友達を応援する気持ち、ルールを守る大切さなどさまざまな思いを経験し、心も大きく成長しています。また、運動会の入場門の飾りを皆で話し合っ制作したり、当日の係を決めて責任を持ち、主体的に運動会へ参加することを目標にしています。夫々の力を十分に発揮しながら、皆で取り組む満足感や充実感を味わい、年長児としての自信と誇りが育つことを期待しています。